

Track1~5 (ハイブリット) +ワークショップトラック

Track01	Track02	Track03	Track04	Track05	Track11
国際会議場	605	606	607	608	703
9:30~ A0 (15分) オープニングセッション JaSST Tokyo 実行委員会					
9:45~ A1 (90分) When AI Joins the Test Team: Promise, Pitfalls, and the Future of Software Quality AIがテストチームに加わるときの期待、落とし穴、そしてソフトウェア品質の未来 - Gayathri Mohan					
休憩 11:15~11:45 (30分)					
11:45~ A2 (60分) 曖昧な要求は仕様かバグか? -AI時代の仕様とテストを考える 栗田 太郎 (フリー) 菊田 運 (フリー)	11:45~ B2 (60分) JISマーク認証のその先へ〜事業として「売れる」サービスの品質保証とは何か、総務大臣認定タイムスタンプサービスの真偽〜 伊藤 潤平 (ウイングアーク1st) 安田 昂平 (ウイングアーク1st) 永井 潤也 (ウイングアーク1st)	11:45~ C2 (60分) QA エンジニアに対しての課題解決型教育は効果があるのか? ~ QA ゼミ全2 回を通した考察 ~ 河野 哲也 (ナレッジワーク) 湯本 剛 (ytte Lab) 横田 雅和 (ZENKIGEN) 高瀬 典衣 (ヒューマンクエスト) 菊池 のぞみ (Voicy) 末村 拓也 (Ubile)	11:45~ D2 (60分) 品質を経営にどう語るか kyon_mm (デロイト トーマツ) naco_mm (キャディ)	11:45~ E2-1 (30分) AI時代における、「めっちゃくちゃ開発するQA エンジニア」というキャリアの在り方 山本 龍平 (estlie) 12:15~ E2-2 (30分) 新規事業QAの挑戦: 不確実性を乗り越えろ! フェーズごとに求められるQAの役割変革 塩濱 優 (hacomo) 廣田 大輔 (hacomo) 西 映音 (hacomo)	11:45~ (120分) ソフトウェアテスト 最初の一步 2026年版 〜クラシフィケーションツリー技法をワークで体験しながら学ぶ〜 風間 裕也 (WACATE実行委員会) 岡野 誠 (WACATE実行委員会) 常盤 香央里 (WACATE実行委員会) 川上 大智 (WACATE実行委員会) 黒木 洋平 (WACATE実行委員会) 並木 正典 (WACATE実行委員会) 村橋 紀成 (WACATE実行委員会) 山口 寛子 (WACATE実行委員会) 吉村 優 (WACATE実行委員会)
休憩 12:45~13:50 (65分)					
13:50~ A3-1 (45分) スペシャルトークセッション「AIと品質保証のこれまでとこれから」 松木 晋祐 (ベリサーブ) 須原 秀敏 (ベリサーブ) 山崎 崇 (ベリサーブ)	13:50~ B3-1 (45分) 欠陥分析 (ODC分析) における生成AIの活用プロセスと実践事例 山藤直樹 (SHIFT) 吉澤麻由 (SHIFT) 石井優 (SHIFT)	13:50~ C3-1 (45分) 今日から始められるテスト自動化〜基礎知識から生成AI活用まで〜 伊藤 由貴 (MagicPod)	13:50~ D3-1 (45分) QA組織のAI戦略とAIテスト設計システム AITASの実践 佐藤 水哉 (Sansan) 林 樹坤 (Sansan)	13:30~ (120分) 選択が運命を分ける! リスク体験ゲームブック 坂 静香 (ASTER) 佐藤 博之 (JaSST Tokyo実行委員) 田中 智典 (JaSST Tokyo実行委員)	
休憩 13:35~14:45 (10分)					
14:45~ A3-2 (45分) AIがQAエンジニアの仕事奪うのか? 安野 貴博 (チームみらい) 長島 貴雄 (テックパン) 豊田 悠太 (テックパン)	14:45~ B3-2 (45分) AIDD (生成AIやLLMを前提としたAI駆動開発)・SDD (Spec Driven Development) 時代のQA対応 一QAは何を品質として観測するのか〜 小川 裕徹 (2WINS) 後藤 香織 (ポルトゥウィン) 久保 雅之 (ポルトゥウィン)	14:45~ C3-2 (45分) その一瞬の不具合が、お客様信頼を左右する。「当たり前動く」を支え続ける、トランスコスモス・ライフネット生命の品質への流儀 山田 雅大 (ライフネット生命) 後藤 弘行 (トランスコスモス) 北野 明香里 (NTTレゾナントテクノロジ)	14:45~ D3-2 (45分) Agentic Testing - 人×AIのCoworkが変えたQA プロセス 〜 AIにQAの仕事奪われる。3つの落とし穴の先に辿り着いた現在地〜 清水 隆之 (Autify) 村橋 紀成 (Autify) 岡野 誠 (Autify)		14:25~ (170分) 技法を探せ! 下渡 大輔 (テックラボ) 徳 田弥 (テックタッチ) 竹内 珠央 (サイボウズ) 友田 賢基 (Skillnote) 吉田 航 (セイコーエプソン) 上田 京右 (テックラボ)
休憩 15:30~15:50 (20分)					
15:50~ A4 (60分) シラバスを超えて語る。テストマネジメント 森田 麻沙美 (Voicy) 湯本 剛 (ytte Lab) 高木 陽平 (AGEST) 亀井 亮介 (マネーフォワード)	15:50~ B4 (60分) 生成AI時代、ソフトウェア品質保証のロールと組織はどこへ向かうのか? 山本 久仁朗 (Omiai) 常盤 香央里 (グロース・アーキテクチャ&チームス) 三輪 東 (SCSK) 伊藤 潤平 (ウイングアーク1st) 井芹 洋輝 (SigSQA) 小島 直毅 (Adobe)	15:50~ C4 (60分) Beyond Quality Assurance - AIと拓くQAの未来像 - 池之上 あかり (LINEヤフー) 平田 香織 (LINEヤフーコミュニケーションズ)	15:50~ D4-1 (30分) AIが出力したソースコードを、どう疑い、どう検証すべきか ~低レイヤー領域のテストに求められる「物理的視点」の検証ポイント~ 新井 雅嗣 (ハートランド・データ) 16:20~ D4-2 (30分) スケールアップ企業でQA組織が機能し続けるための組織設計と仕組み ~ボトムアップとトップダウンを両輪としたアプローチ~ 平田 敏之 (SmartHR)	15:50~ E4-1 (30分) "個"から"組織"へ、そして"自走"へ ~QA組織立ち上げ3年の軌跡~ 板山 豪 (コインチェック) 16:20~ E4-2 (30分) QA組織の未来をつくる ~ジュニアもシニアも輝くチームとAI活用のリアル~ 犬島 竜也 (KINTOテクノロジーズ) 山口 大輔 (KINTOテクノロジーズ) 東地 集夫 (KINTOテクノロジーズ) 岡 郁弥 (KINTOテクノロジーズ)	
休憩 16:50~17:20 (30分)					
17:20~ A5 (90分) 人と関わるロボットの研究開発 - ロボットにおける人間らしさの重要性 - 石黒 浩 (大阪大学)					
18:50~ A6 (15分) クロージングセッション JaSST Tokyo 実行委員会					
情報交換会					

Track6~10

Track06	Track07	Track08	Track09	Track10
609	610	701	702	604
<p>F2《60分》 ソフトウェアテスト技術振興協会(ASTER)調査 研究事業の活動紹介</p> <p>増田 聡 (東京都大学) 須原 秀敏 (ベリサーブ) 嬉野 綾 (バグシェルジュ/SReEE) 伊藤 瑞紀 (Works Human Intelligence) 安達 賢二 (SReEE) 森 貴彦 (組込みCI研究WG) 林 宏昌 (組込みCI研究WG) 来山 薫 (管美塾) 勅使川原大輔 (ゲームのテスト研究会/WFS) 徳 隆宏 (三菱電機) 武田 友宏 (富山大学)</p>				
<p>11:45~ G2-1《30分》 QAプロセスAI支援ツールの導入とその 効果について</p> <p>引持 力哉 (LegalOn Technologies)</p> <p>12:15~ G2-2《30分》 主体的に活躍する内製QA組織への変革実践事 例</p> <p>金子 佳樹 (ラクス)</p>				
<p>11:45~ H2-1《30分》 生成AIで支える自動E2Eテストの継続運用</p> <p>大房 甫 (Sansan)</p> <p>12:15~ H2-2《30分》 事例から紐解くSHIFT流QA支援 ~大規模プロジェクトの品質管理支援、QA 組織立ち上げ~</p> <p>織綿望 (SHIFT)</p>				
<p>11:45~ I2-1《30分》 モバイルQAの壁を突破~デバイスクラウド*自 動化で持続可能なQA体制へ~</p> <p>伊藤 由貴 (MagicPod) 早川 彰彦 (NTTレゾナントテクノロジー)</p> <p>12:15~ I2-2《30分》 CI/CDで実機テストの手動操作部分も自動化し てみた話 ~低レイヤー領域の開発におけるテス ト自動化の取り組み~</p> <p>小泉 友晃 (ハートランド・データ)</p>				
<p>11:45~ J2-1《30分》 開発チームとQAエンジニアの新しい協業モデ ル:年末調整開発チームで実践する [QAリー ド施策]</p> <p>平澤 孝仁 (SmartHR) 依田 薫実 (SmartHR)</p> <p>12:15~ J2-2《30分》 仕様漏れ実装漏れをなくすトレーサビリティAI 基盤のご紹介</p> <p>国分 佑樹 (コインチェック)</p>				
<p>13:50~ F3-1《30分》 あなたのシステムの壊し方</p> <p>末村 拓也 (Ubie)</p>				
<p>13:50~ G3-1《30分》 JSTQB Expert Levelシラバス「テストマネジメ ント」日本語版のご紹介</p> <p>湯本 剛 (JSTQB)</p>				
<p>13:50~ H3-1《30分》 ソフトウェアレビュー評価マトリクスに基づく パフォーマンス改善実践促進</p> <p>安達 賢二 (Software Quasol)</p>				
<p>13:50~ I3-1《30分》 意思決定のための品質分析~クライアントが理 解できる分析を~</p> <p>佐藤 俊之 (デロイト トーマツ) 竹林 大輔 (デロイト トーマツ)</p>				
<p>13:50~ J3-1《30分》 境界マルチモードへの道-体験を通じてチーム にQAを宿す-</p> <p>山田 恭平 (Lychee Redmine) 徳田 紗矢香 (Lychee Redmine) 水島 友利絵 (Lychee Redmine)</p>				
<p>休憩 14:20~14:25 (5分)</p>				
<p>14:25~ F3-2《30分》 Sierの大規模案件で探索的テストを続けてみた ら。-2,193時間の積み重ねと可視化の試み</p> <p>吉村 優 (NTTドコモソリューションズ)</p>				
<p>14:25~ G3-2《30分》 AIを活用したリソースエンジニアリングで考え る自動テストの全体方針</p> <p>村上 横 (estie)</p>				
<p>14:25~ H3-2《30分》 LLMを用いたユニットテスト生成における実行時エ ラー抑制のためのプロンプト手法の提案</p> <p>山田 泉樹 (ソニーグローバル・バルマニファクチャ リング&amp;オペレーションズ)</p>				
<p>14:25~ I3-2《30分》 AIエージェント*GitHubで実現するQAナレッジ の資産化と業務活用</p> <p>今西 空悟 (ヤプリ)</p>				
<p>14:25~ J3-2《30分》 LLMでもいつものテスト技術~意外と半分はこ れまでのテストでした~</p> <p>水谷 太一 (サイボウズ)</p>				
<p>休憩 14:55~15:00 (5分)</p>				
<p>15:00~ F3-3《30分》 バグ重篤度とテストサイズを用いたテストアプ ローチによるSaaS製品の信頼性とリリース速度 の向上</p> <p>菊田 蓮 (フリー)</p>				
<p>15:00~ G3-3《30分》 開発者とQAエンジニアが協働で取り組む仕様 精査・詳細化プロセスの実践事例</p> <p>富田 浩史 (ナレッジワーク)</p>				
<p>15:00~ H3-3《30分》 LLMのテスト分析・テスト設計能力を測定する ためのベンチマーク手法</p> <p>吉川 努 (ベリサーブ)</p>				
<p>15:30~ I3-3《30分》 ビルドトラブルを脱却し、真に顧客満足を実現 するチームへ~小さなフィードバックループが もたらした1年間の変化~</p> <p>赤崎 光 (カオナビ)</p>				
<p>15:30~ J3-3《30分》 生成AIで速度と品質を両立する、QAエンジニ ア・開発者連携のAI協働型テストプロセス</p> <p>草場 翔太 (エムスリー)</p>				
<p>15:50~ F4《60分》 テストコンNow 2026</p> <p>秋谷 勤 (テスト設計コンテスト) 近美 克行 (テスト設計コンテスト) 原山 謙 (パナソニックITS) 佐藤 克哉 (パナソニックITS) 山本 涼雅 (パナソニックITS)</p>				
<p>15:50~ G4《60分》 みんなでつくったJaSSTnanoの</p> <p>いこ(ICO) (JaSSTnanoお世話係) 安達 賢二 きたのしるくま (JaSSTnanoお世話係) 朱峰 鏡司 a.k.a. きんぞ (JaSSTnanoお世話係) 川崎 久美 かわくみ (JaSSTnanoお世話係) そうすけ (JaSSTnanoお世話係) 晋 (JaSSTnanoお世話係) やますん (JaSSTnanoお世話係)</p>				
<p>15:50~ H4-1《30分》 QAって、この先どうなるの?—新卒QAが語 る“伸びる人・止まる人”の分岐点</p> <p>平間 良成 (テクバン) 萩原 碧生 (テクバン) 岩崎 謙也 (テクバン)</p> <p>16:20~ H4-2《30分》 開発ライフサイクル全体で考えるプロアクティ ブなQA ~ “品質の創り込み”の重要性和、 PTW実践事例~</p> <p>木川 広基 (ポルトゥウィン)</p>				
<p>15:50~ I4-1《30分》 プログラミング不要! テスト自動化における生 成AI使いこなし術</p> <p>伊藤 望 (MagicPod)</p> <p>16:20~ I4-2《30分》 “AI駆動開発に対するQAを考える会”を立ち 上げました!</p> <p>白川 亮太 (ベリサーブ)</p>				
<p>15:50~ J4-1《30分》 テストプロセスにおけるAI活用:人間とAIの共 存</p> <p>滝田 啓介 (hacomonio) 蛸子 将樹 (hacomonio)</p> <p>16:20~ J4-2《30分》 JSTQBの「いま」と「これから」—資格・コ ミュニティ・新たな取り組み—</p> <p>佐野 あゆみ (JSTQB) 藤田 奈美 (JSTQB) 小池 莉央 (JSTQB)</p>				

Table with 11 columns (Track01-Track11) and multiple rows. Contains session titles, times, speakers, and topics. Includes sections for Track01 (International Conference), Track02-05, Track06-08, Track09-10, and Track11. Sessions cover topics like AI in testing, automation, and quality assurance.

休憩 11:15~11:45 (30分)

休憩 12:45~13:50 (65分)

休憩 14:35~14:45 (10分)

休憩 15:30~15:50 (20分)

休憩 16:50~17:20 (30分)

情報交換会

11:45~ (120分)
ソフトウェアテスト 最初の一步 2026年版
〜クラシフィケーションツリー技法をワークで体験しながら学ぶ〜
風間 裕也 (WACATE実行委員会)
岡野 誠 (WACATE実行委員会)
常盤 香央里 (WACATE実行委員会)
川上 大智 (WACATE実行委員会)
黒木 洋平 (WACATE実行委員会)
並木 正典 (WACATE実行委員会)
村瀬 紀成 (WACATE実行委員会)
山口 寛子 (WACATE実行委員会)
吉村 優 (WACATE実行委員会)

14:25~ (170分)
技法を探せ！
下浅 大輔 (テックノラボ)
豊 田 奈 (テックノラボ)
竹内 玲央 (サイボウズ)
友田 賢吾 (Skillnote)
吉田 航 (セイコーエプソン)
上田 京右 (テックノラボ)